

令和8年度 事業計画・当初予算 概要版

1. 法 人 全 体 P 1 ~ P 2
2. お お す か 苑 拠 点 P 3 ~ P 9
3. 地 域 密 着 サ ー ビ ス 拠 点 P 1 0 ~ P 1 2
4. よ こ す か め く 森 こ ど も 園 拠 点 P 1 3 ~ P 1 4
5. お お ぶ ち そ よ 風 こ ど も 園 拠 点 P 1 5 ~ P 1 6

社会福祉法人 大須賀苑

社会福祉法人 大須賀苑

法 人 名	社会福祉法人 大須賀苑		
所 在 地	〒437-1302 掛川市大渕 4895 番地		TEL 0537-48-5365
代 表 者	理事長 青野 容幸		
設立認可年月日	(平成3) 1991年10月 5日		
法人登記年月日	(平成3) 1991年10月17日		
法 人 番 号	3080405004701		
理 事	6名	任期;令和7年6月～令和9年6月	
監 事	2名	任期;令和7年6月～令和9年6月	
評 議 員	7名	任期;令和7年6月～令和11年6月	
法人の基本理念	利用者一人一人がその人らしく 自立した生活を営むことができるように支えることを目指す		
事 業 内 容	第一種社会福祉事業 特別養護老人ホームの経営 第二種社会福祉事業 老人デイサービス事業の経営 老人短期入所事業の経営 幼保連携型認定こども園の経営 地域子育て支援拠点事業の経営 一時預かり事業の経営 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営 小規模多機能型居宅介護事業の経営 公益事業 居宅介護支援事業 包括支援センター		
運 営 施 設	【高齢者福祉事業部】 特別養護老人ホームおおすか苑（従来型） 定員 50名 特別養護老人ホームおおすか苑（ユニット型） 定員 30名 おおすか苑ショートステイ 定員 20名 おおすか苑デイサービスセンターほほえみ 定員 35名 おおすか苑居宅介護支援事業所 掛川市南部大須賀地域包括支援センター 小規模多機能型居宅介護よりみち 登録 25名 グループホーム野楽里 定員 18名 【児童福祉事業部】 よこすか めく森こども園 定員230名 おおぶち そよ風こども園 定員114名 一時預かり事業所 子育て支援センターはじめのいっぽ		
職 員 数 (令和8年4月1日現在)	法人全体 名 (高齢者福祉事業部 名)(児童福祉事業部 名)		

資金収支当初予算書

令和 8年 4月 1日

(単位: 円)

勘 定 科 目		当初予算額	前年度予算額	増 減	
事業活動による収支	収 入	0165 介護保険事業収入	675,088,000	637,921,000	37,167,000
		0181 保育事業収入	306,639,000	315,202,000	-8,563,000
		0199 経常経費寄附金収入	51,000	11,000	40,000
		0200 受取利息配当金収入	1,094,000	932,000	162,000
		0201 その他の収入	4,575,000	4,414,000	161,000
		事業活動収入計(1)	987,447,000	958,480,000	28,967,000
	支 出	0129 人件費支出	690,016,000	670,755,000	19,261,000
		0130 事業費支出	140,819,000	141,616,000	-797,000
		0131 事務費支出	178,663,000	157,895,000	20,768,000
		0136 利用者負担軽減額	1,845,000	1,925,000	-80,000
		0137 支払利息支出	2,100,000	2,017,000	83,000
		0138 その他の支出	3,560,000	3,555,000	5,000
	事業活動支出計(2)	1,017,003,000	977,763,000	39,240,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		-29,556,000	-19,283,000	-10,273,000	
施設整備等による収支	収 入	0204 施設整備等補助金収入	0	2,171,000	-2,171,000
		施設整備等収入計(4)	0	2,171,000	-2,171,000
	支 出	0143 設備資金借入金元金償還支出	20,400,000	20,400,000	0
		0144 固定資産取得支出	18,730,000	27,913,000	-9,183,000
		0146 ファイナンス・リース債務の返済支出	4,854,000	5,029,000	-175,000
	施設整備等支出計(5)	43,984,000	53,342,000	-9,358,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-43,984,000	-51,171,000	7,187,000	
その他の活動による収支	収 入	0214 積立資産取崩収入	624,000	1,495,000	-871,000
		0222 拠点区分間繰入金収入	21,655,000	1,857,940	19,797,060
		0223 サービス区分間繰入金収入	1,996,000	1,834,000	162,000
		その他の活動による収入計(7)	24,275,000	5,186,940	19,088,060
	支 出	0152 積立資産支出	2,104,000	2,012,000	92,000
		0160 拠点区分間繰入金支出	21,655,000	1,170,000	20,485,000
		0161 サービス区分間繰入金支出	1,996,000	1,834,000	162,000
	その他の活動支出計(8)		25,755,000	5,016,000	20,739,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		-1,480,000	170,940	-1,650,940
予備費支出(10)		0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-75,020,000	-70,283,060	-4,736,940	
前期末支払資金残高(12)		152,690,805	222,973,865	-70,283,060	
当期末支払資金残高(11)+(12)		77,670,805	152,690,805	-75,020,000	

前年度予算額に山崎デイサービス拠点の分が含まれていません

特別養護老人ホームおおすか苑（従来型）

法人の経営理念に基づき、特別養護老人ホームの経営に取り組む。経営にあたっては、福祉サービスの基本的理念である「個人の尊厳の保持」を旨とする。

【利用者の「やりたい」をかなえる施設になる】

1. 今年度の目標 【改革】

〈目標に対する取り組み〉

職員の意識改革

- ・ 責任意識：職務、職責、担当のやるべき役割を明確にし、取り組む
- ・ 自己研鑽：自己研修評価毎月実施、各自で自己評価し上司が確認する
- ・ 個人面談：2か月に1回、管轄する部署の職員に対し上司が実施
- ・ 期日厳守：各種届出、提出物等の期日を守る、守らせる

業務の改革

- ・ 業務効率化：これまでのやり方に固執せず、改善・改良を取り入れる
- ・ 稼働率98%：利用者の健康管理、変化への早期対応、申込者の確保
- ・ 迅速な対応：相談、要望等へのスピーディーな対応

2. 活動・行事

身体機能の低下予防、生活意欲の維持向上、季節感重視、誕生日御膳の提供
園児やボランティアの方との交流、介護体験・実習生受入

3. 利用者の健康管理

毎日の体調確認、および定期的な健康チェック

4. 防災活動

毎月の防災訓練、自主点検

5. 職員研修計画

〈高齢者福祉事業部 役職職員勉強会〉 第2、4金曜日開催

〈自己研修計画〉毎月、自己評価を行う

〈内部研修〉実施日：第4木曜日、動画サイトやWEB研修も活用

〈外部研修〉

6. 会議、委員会

① 施設福祉課会議（毎月第3金曜日）

② 給食会議（毎月1回）

③ ユニット会議（月1回）

④ 個人面談（2か月に1回）

⑤ 各種委員会の設置

7. 入所者受入れ

- ・ 優先入所検討会の設置

原則として毎月1回（年6回は第三者委員が参加）

- ・ 入所申込み者の確保

関係機関との連携体制強化、情報提供、PR、スピーディーな対応

8. 地域貢献

地域サロン・地域行事への協力、地域の方やボランティアとの交流

地域への貢献活動の推進

特別養護老人ホームおおすか苑（ユニット型）

法人の経営理念に基づき、特別養護老人ホームの経営に取り組む。経営にあたっては、福祉サービスの基本的理念である「個人の尊厳の保持」を旨とする。

【利用者の「やりたい」をかなえる施設になる】

1. 今年度の目標 【改革】

〈目標に対する取り組み〉

職員の意識改革

- ・責任意識：職務、職責、担当のやるべき役割を明確にし、取り組む
- ・自己研鑽：自己研修評価毎月実施、各自で自己評価し上司が確認する
- ・個人面談：2か月に1回、管轄する部署の職員に対し上司が実施
- ・期日厳守：各種届出、提出物等の期日を守る、守らせる

業務の改革

- ・業務効率化：これまでのやり方に固執せず、改善・改良を取り入れる
- ・稼働率98%：利用者の健康管理、変化への早期対応、申込者の確保
- ・迅速な対応：相談、要望等へのスピーディーな対応

2. 活動・行事

身体機能の低下予防、生活意欲の維持向上、季節感重視、誕生日御膳の提供
園児やボランティアの方との交流、介護体験・実習生受入

3. 利用者の健康管理

毎日の体調確認、および定期的な健康チェック

4. 防災活動

毎月の防災訓練、自主点検

5. 職員研修計画

〈高齢者福祉事業部 役職職員勉強会〉 第2、4金曜日開催
〈自己研修計画〉毎月、自己評価を行う
〈内部研修〉実施日：第4木曜日、動画サイトやWEB研修も活用
〈外部研修〉

6. 会議、委員会

- | | |
|--------------------|---------------|
| ① 施設福祉課会議（毎月第3金曜日） | ③ ユニット会議（月1回） |
| ② 給食会議（毎月1回） | ⑤ 各種委員会の設置 |
| ④ 個人面談（2か月に1回） | |

7. 入所者受入れ

- ・優先入所検討会の設置
原則として毎月1回（年6回は第三者委員が参加）
- ・入所申込み者の確保
関係機関との連携体制強化、情報提供、PR、スピーディーな対応

8. 地域貢献

地域サロン・地域行事への協力、地域の方やボランティアとの交流
地域への貢献活動の推進

おおすか苑ショートステイ

法人の経営理念に基づき、特別養護老人ホームの経営に取り組む。経営にあたっては、福祉サービスの基本的理念である「個人の尊厳の保持」を旨とする。

1. 今年度の目標 【1日の平均利用人数 10人以上】

〈目標に対する具体的な取り組み〉

- ・業務効率化：これまでのやり方に固執せず、改善・改良を取り入れる
- ・責任意識：職務、職責、担当のやるべき役割を明確にし、取り組む
- ・自己研鑽：自己研修評価毎月実施、各自で自己評価し上司が確認する
- ・利用者確保：居宅介護支援事業所および関係各所への情報発信
- ・迅速な対応：相談、要望等へのスピーディーな対応
- ・サービス向上：利用者への感想聞き取り

2. 活動・行事

生活意欲の維持向上、季節感を重視した行事や食事の提供
園児やボランティアの方との交流、介護体験・実習生受入

3. 利用者の健康管理

利用時の体調確認

4. 防災活動

毎月の防災訓練、自主点検

5. 職員研修計画

〈高齢者福祉事業部 役職職員勉強会〉 第2、4金曜日開催

〈自己研修計画〉毎月、自己評価を行う

〈内部研修〉実施日：第4木曜日、動画サイトやWEB研修も活用

〈外部研修〉

6. 会議、委員会

- ① 施設福祉課会議（毎月第3金曜日）
- ② 給食会議（毎月1回）
- ③ ユニット会議（月1回）
- ④ 個人面談（2か月に1回）
- ⑤ 各種委員会の設置

7. 地域貢献

地域サロン・地域行事への協力、地域の方やボランティアとの交流
地域への貢献活動の推進

※2~7は併設の特養おおすか苑従来型と一体的に行う。

おおすか苑デイサービス（ほほえみ）

1 方針

「一人一人の個性や機能を生かし、その人らしい生活ができるよう支援する」

- ・利用者と家族のニーズや意向に沿い、個性や機能を生かした通所介護サービスを提供する。日々の様子や状態変化などへの気づきを大切にし、より良い在宅生活が続けられるよう支援する。
- ・大須賀地域で唯一の社会福祉法人が運営する事業所として地域の方に安心して利用いただけるよう、関係法令を遵守し誠実に事業を行う。情報発信や地区行事へ参加をすることで事業所を知っていただき、利用につなげる。

目標 【地域に根ざしたデイサービス事業を継続していく】

＊今年度の重点強化項目

①「1日平均利用者数 平日 26名以上、土曜日 15名以上」

②「業務の効率化を図り、利用者に関わる時間を増やす」

① についての取り組み

- ・PR活動の強化
- ・見学会の開催
- ・利用者の満足度向上
- ・健康管理の呼びかけ

② についての取り組み

- ・業務効率化に向けた現状分析と評価
- ・職員の個人面談実施
- ・ICTの活用推進

2. 事業内容

利用者・家族の意向及び居宅サービス計画に基づき、通所介護計画を作成し、以下のサービスを提供する。

- | | |
|-------------|----------------|
| ①食事サービス | ②入浴サービス |
| ③健康管理 | ④送迎サービス |
| ⑤介護相談 | ⑥活動（レクリエーション等） |
| ⑦運動・体操・機能訓練 | ⑧定期的なケアの見直し |
| ⑨防災計画 | |

3. 職員研修・会議

各職員が個別に目標を立て、目標達成の実現に有効と思われる研修や会議へ参加し知識の収得、スキルアップに努める。

4. 営業日及び営業時間等

営業日 月曜日～土曜日（但し12/31～1/3は休み）

営業時間 8:00～17:00 定員（平日）35名（土曜）20名

※サービス提供時間は 9:15～16:15（7～8時間）

※時間外利用：家族の都合に応じて8:00から、17:00まで受け入れる。

おおすか苑居宅介護支援事業所

1 方針

法人理念の実現のため利用者が主体となり、その能力に応じた自立した生活を送ることができるよう支援する。社会の変化に伴い家族関係にも変化がみられる。介護だけでなく複数の課題を抱えたケースであっても理念に沿った対応できるように、事業所に所属する職員各自が支援の技術向上を目指す。

地域に根ざした社会福祉事業者として、地域住民とのつながりを深め、介護等についての身近な相談先になることを目指す。

事業所の安定した経営のため積極的に相談を受ける。またスムーズに新規の利用者の受入れができるよう、普段から業務の効率化を図る。

目標 【大須賀地域において、選ばれる事業所になる】

＊今年度の重点強化項目

①「人材育成」

②「生産性向上・業務効率化」

① についての取り組み

- ・ 法定研修受講
- ・ 研修や会議への参加
- ・ 介護保険制度以外の知識の習得
- ・ 適切なケアマネジメント手法の学習
- ・ 個人面談、研修計画の自己評価

② についての取り組み

- ・ 介護ソフトの効率的な活用
- ・ ケアプランデータ連携システムの導入
- ・ 業務効率化に向けた現状分析と評価

2 活動内容

利用者一人一人が住み慣れた地域での生活が継続できるよう以活動を行う。

- | | |
|------------------------|-------|
| ①居宅介護支援 | ②給付管理 |
| ③要介護認定等の申請の援助 | ④相談業務 |
| ⑤受託業務（要介護認定調査、介護予防支援等） | |
| ⑥介護支援専門員実務研修受け入れ | |

3 職員研修、会議

各各職員が個別に目標を立て、目標達成の実現に有効と思われる研修や会議へ参加し知識の取得、スキルアップに努める。

4 利用者満足度調査及び自己評価

5 営業日および営業時間等

営業日：月曜日～土曜日（但し 12月29日～1月3日は休み）

営業時間：8：00～17：00

夜間対応：営業時間外専用の携帯電話番号にて、常に対応できる体制を確保

掛川市南部大須賀地域包括支援センター

1	担当圏域	大須賀地区 人口 10,006 人 高年齢者人口 3,565 人 高齢化率 35.63%	※R7.3 月末現在
2	職員体制	主任介護支援専門員 1 名・看護師 1 名・社会福祉士 1 名	
3	センターの方針	(1) 地域包括ケアシステムの推進 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります。 (2) 専門職によるチームアプローチ 地域包括に配置された社会福祉士、保健師（看護師）、主任介護支援専門員の資格を持った職員が、多様化、複雑化した相談等に対応するために、それぞれの専門性を活かし、連携、協働しながら問題解決を図る、“チームアプローチ”を実践します。また、地域の保健・福祉・医療・介護の専門職やボランティア、民生委員等関係者と連携を図り、活動します。 (3) 公平性・中立性の確保 地域包括は、市の介護、福祉行政の一翼を担う公益的な機関として、公正かつ中立性を確保し、その運営に関する費用は介護保険料や国、県、市の公費によって賄われていることを十分理解したうえで、適切な事業運営に努めます。	
4	事業別の実施内容	【1】 総合相談支援業務 ① 実態把握：民生委員と協力して実態把握調査を行い、その情報から必要に応じて訪問等をして相談対応をする。 ② 総合相談：3 職種で情報共有、支援方法を検討しチームで対応する。また、必要に応じて長寿推進課やふくしあ所属団体と連携し対応する。 【2】 権利擁護業務 ① 高齢者虐待の早期発見、早期介入 ② 成年後見制度等の利用支援 ③ 消費者被害への相談支援 【3】 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 ふくしあ内で定期的に情報共有し、課題解決に向けた検討を行ったり、民生委員との連携強化を図る。 【4】 介護予防ケアマネジメント業務・指定介護予防支援業務 【5】 地域におけるネットワーク活動の展開 ① 地域の見守り活動の周知・拡大 ② 地域の社会資源の掘り起こしと活用 【6】 認知症に関する取り組み ① 認知症への理解を深める普及・啓発 ② 認知症高齢者やその家族に対する支援 ③ 認知症疾患センターとの連携 ④ 認知症初期集中支援チームの業務 【7】 生活支援体制整備事業に関する取り組み 生活支援コーディネーターとの連携。「地域元気の WA」や大須賀ふくしあで作成する地域アセスメントシートを活用し、地域診断を行う。 【8】 地域ケア会議の開催 個別の課題解決を図りながら、地域としての課題抽出にも努める。課題内容についてのさらなる情報収集や分析を行い、課題解決への取り組みを協議する。 【9】 在宅医療・介護連携推進事業に関する業務 医療と介護の両立を必要とする高齢者が、人生の最期まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう支援する。在宅医療と介護等のサービスを包括的に提供するため、医療機関と介護サービス事業所などとの連携を推進する。	

おおすか苑拠点区分 資金収支当初予算書

令和 8年 4月 1日

(単位: 円)

勘 定 科 目			当初予算額	前年度予算額	増 減
事業活動による収支	収 入	0165 介護保険事業収入	551,633,000	517,819,000	33,814,000
		0199 経常経費寄附金収入	51,000	11,000	40,000
		0200 受取利息配当金収入	1,025,000	863,000	162,000
		0201 その他の収入	745,000	582,000	163,000
		事業活動収入計(1)	553,454,000	519,275,000	34,179,000
	支 出	0129 人件費支出	363,519,000	347,827,000	15,692,000
		0130 事業費支出	85,090,000	86,452,000	-1,362,000
		0131 事務費支出	99,946,000	87,959,000	11,987,000
		0136 利用者負担軽減額	1,845,000	1,925,000	-80,000
		0137 支払利息支出	350,000	300,000	50,000
事業活動支出計(2)		550,750,000	524,463,000	26,287,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		2,704,000	-5,188,000	7,892,000	
施設整備等による収支	収 入	0204 施設整備等補助金収入	0	2,171,000	-2,171,000
		施設整備等収入計(4)	0	2,171,000	-2,171,000
	支 出	0143 設備資金借入金元金償還支出	6,400,000	6,400,000	0
		0144 固定資産取得支出	18,500,000	17,806,000	694,000
		0146 ファイナンス・リース債務の返済支出	4,184,000	4,359,000	-175,000
		施設整備等支出計(5)	29,084,000	28,565,000	519,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-29,084,000	-26,394,000	-2,690,000	
その他の活動による収支	収 入	0214 積立資産取崩収入	3,000	787,000	-784,000
		0222 拠点区分間繰入金収入	0	1,857,940	-1,857,940
		0223 サービス区分間繰入金収入	1,996,000	1,834,000	162,000
		その他の活動による収入計(7)	1,999,000	4,478,940	-2,479,940
	支 出	0152 積立資産支出	1,059,000	1,045,000	14,000
		0160 拠点区分間繰入金支出	21,655,000	0	21,655,000
		0161 サービス区分間繰入金支出	1,996,000	1,834,000	162,000
		その他の活動支出計(8)	24,710,000	2,879,000	21,831,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		-22,711,000	1,599,940	-24,310,940
予備費支出(10)		0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-49,091,000	-29,982,060	-19,108,940	
前期末支払資金残高(12)			112,298,922	142,280,982	-29,982,060
当期末支払資金残高(11)+(12)			63,207,922	112,298,922	-49,091,000

小規模多機能型居宅よりみち

1. 基本方針

家庭的な環境と地域の方との交流の下で、利用者がその能力に応じその居宅において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。

通いを中心に、利用者の様態や希望に応じて随時訪問や宿泊サービスを組み合わせて提供することにより、居宅における生活の継続を支援する。

2. 目標 【事業所のブランド化を目指す】

～小規模多機能型居宅というサービスで差別化を図る～

3. 重点目標と具体的な取り組み

【事業目標】月平均登録人数15名（登録率60%）を目指す

・PRの場を開拓しPR活動を継続していく

チームとしての意識を持つ

・誰かのアイデアを全員で協力する。

・誰かの困りごとを一緒に考える。

・内部研修企画・実践・評価をする。

・接遇マナーの向上（自己・相互点検）

・ミーティングを実施し情報共有し、統一した対応と連携を図る。

・職員の個別面談を定期的実施し、意思疎通を図る。（職員の定着）

【処遇目標】各々の利用目的を把握し、「その人の暮らし方」継続の支援をする

・サービス評価で立てた改善計画の取り組み。

4. サービス内容

1) サービス計画、介護計画を基に支援する

2) 通い支援

3) 訪問支援

4) 宿泊支援

5) 介護相談

5. 行事計画 : 楽しみと季節を感じていただけるようなイベントを企画する

6. 会議・研修 : 介護保険事業所の職員として必要な知識や情報を得て、職員のスキルアップへの意識、顧客意識、コスト意識を持ち業務にあたることができるよう実施する

7. 地域との連携

〔運営推進会議〕〔地域貢献〕その他、地域との連携、貢献活動の推進

8. 防災計画 : 防災意識の高揚を図り、基本的な対応ができるよう訓練を実施する

9. 営業日及び営業時間

(1) 登録 25名 15名/日 宿泊6名/日

(2) 営業日 365日

(3) 営業時間 24時間

通い時間 9時30分から16時00分

宿泊時間 16時00分から 9時30分

訪問時間 24時間

グループホーム野楽里

1. 基本方針

法人の基本理念、経営理念に基づき認知症対応型共同生活介護事業の経営に取り組むことで、入居者が安心して生活できる場所として地域に根付いた事業運営を目指す。

2. 目標 【明日へ繋げるケア 未来を考えた職場作り】

3. 重点目標と具体的な取り組み

【事業目標】空室期間を短くするよう取り組み、定員に対する稼働率 98%を目指す

- ・事業所のPR活動を行い、待機者を増やし、空室が出た時に速やかに対応して空室期間を短くする。
- ・「運営基準確認シート」を使い、自己学習、評価をして理解を深め、PR活動や新人教育に役立てる。
- ・職員の個別面談を定期的実施し、意思疎通を図る。(職員の定着)

【処遇目標】「できること」を再発見し、自主的に活動できる環境を作る

- ・個々の疾病の把握をしてリスクを最小限に防ぎ、「できること」を実践し評価する。
- ・アセスメントシートの活用(更新・確認)
- ・「記録する」「聴く・見る」「意見交換」を行い、統一したケアを実践する。
- ・計画的にレク活動や屋外活動、個別活動を進める。
- ・職員間で、業務の流れ、ケアの見直し等を定期的に確認する。

4. ケアの具体的な取り組み内容

①生活支援(役割のある生活・安全・清潔・安心できる生活の援助)

(食事)(入浴)(排泄)(状態把握)(家族との連携)

②アクティビティ活動(認知症の進行抑制や改善、身体機能の維持改善)

季節行事、園芸活動、日々のリハビリ体操・「脳トレ」、外部との交流などを通じ、発語や笑いを引き出す活動に取り組み、「脳の活性化」を図っていく。

(地域交流)(園芸活動)(レク活動)

③より良いサービスの提供

5. 会議・研修 : 介護保険事業所の職員として必要な知識や情報を得て、職員のスキルアップへの意識、顧客意識、コスト意識を持ち業務にあたることができるよう実施する

6. 地域との連携

〔運営推進会議〕〔地域貢献〕その他、地域との連携、貢献活動の推進

7. 防災計画 : 防災意識の高揚を図り、基本的な対応ができるよう訓練を実施する

8. 自己評価・外部評価 外部評価は(緩和措置の申請をするため)2年に1回実施

9. 定員・営業日 (1) 定員 18名(1ユニット9名×2フロア)

(2) 営業日 365日(24時間)

地域密着サービス拠点区分 資金収支当初予算書

令和 8年 4月 1日

(単位: 円)

勘定科目		当初予算額	前年度予算額	増減	
事業活動による収支	収入	0165 介護保険事業収入	123,455,000	120,102,000	3,353,000
		0201 その他の収入	80,000	82,000	-2,000
		事業活動収入計(1)	123,535,000	120,184,000	3,351,000
	支出	0129 人件費支出	96,856,000	97,650,000	-794,000
		0130 事業費支出	20,225,000	20,270,000	-45,000
		0131 事務費支出	14,961,000	10,671,000	4,290,000
		0137 支払利息支出	1,750,000	1,717,000	33,000
		0138 その他の支出	5,000	5,000	0
			事業活動支出計(2)	133,797,000	130,313,000
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-10,262,000	-10,129,000	-133,000	
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出	0143 設備資金借入金元金償還支出	14,000,000	14,000,000	0
		0144 固定資産取得支出	120,000	0	120,000
		0146 ファイナンス・リース債務の返済支出	670,000	670,000	0
		施設整備等支出計(5)	14,790,000	14,670,000	120,000
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-14,790,000	-14,670,000	-120,000	
その他の活動による収支	収入	0214 積立資産取崩収入	500,000	427,000	73,000
		0222 拠点区分間繰入金収入	21,655,000	0	21,655,000
		その他の活動による収入計(7)	22,155,000	427,000	21,728,000
	支出	0152 積立資産支出	327,000	249,000	78,000
			その他の活動支出計(8)	327,000	249,000
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	21,828,000	178,000	21,650,000
予備費支出(10)		0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-3,224,000	-24,621,000	21,397,000	
前期末支払資金残高(12)		3,710,072	28,331,072	-24,621,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)		486,072	3,710,072	-3,224,000	

よこすか めく森こども園

1, 園の運営

昨年度、様々な場面で保護者や地域への発信不足、職員同士のコミュニケーション不足、また発信することの重要性を感じるが多かった。そのことから令和8年度は『発信』に重点をおき取り組んでいく。

2, 取り組み

- ・重点目標：取り組みの保護者への発信に特化していく。
- ・子育て支援の場：気軽に相談できる場や保護者同士が語らう場作り。
- ・地域との連携、地域への発信：インスタグラム、横須賀踊りの継承、地域ボランティアの仕組み作り。
- ・生き生き働ける職場：個々の役割の明確化。
- ・安全管理：避難訓練の様子をその都度配信。

3, 年間活動計画

- ・令和7年度の振り返り・改善を行った活動を進めていく。

4, 火災・地震・水害・消火訓練及び不審者対応訓練

- ・園児の安全確保と職員の危機管理の意識の向上を図りながら、災害の発生に備え、子どもが自分で自分の身を守る力を養うように訓練を実施していく。
- ・訓練後必ず振り返り・改善を行い次の実施につなげていく。
- ・様々な状況のシミュレーションや訓練、研修を行う。

5, 職員園務

- ・それぞれの職務を明確にし、スムーズな運営を行えるようにする。
- ・職員間の連携を深める取り組みを行ながら、それぞれの力を結集していく。

6, 研修

- ・園内研修・ケース会議・ヒヤリハット会議・安全管理研修・人権虐待についての研修等、全体研修やグループ討議、またそよ風こども園との合同の研修を行いながら、質の向上に努めていく。
- ・外部研修はできる限り全職員が参加できるよう、キャリア別研修計画に沿いながら参加をしていく。

よこすか んく森こども園拠点区分 資金収支当初予算書

令和 8年 4月 1日

(単位: 円)

勘 定 科 目		当初予算額	前年度予算額	増 減
事業活動による収支	収 入			
	0181 保育事業収入	180,327,000	191,277,000	-10,950,000
	0200 受取利息配当金収入	39,000	39,000	0
	0201 その他の収入	2,300,000	2,300,000	0
	事業活動収入計(1)	182,666,000	193,616,000	-10,950,000
	支 出			
	0129 人件費支出	138,635,000	136,573,000	2,062,000
	0130 事業費支出	20,922,000	21,501,000	-579,000
	0131 事務費支出	36,983,000	32,599,000	4,384,000
施設整備等による収支	0138 その他の支出	2,250,000	2,250,000	0
	事業活動支出計(2)	198,790,000	192,923,000	5,867,000
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-16,124,000	693,000	-16,817,000
	収 入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支 出			
	0144 固定資産取得支出	0	9,284,000	-9,284,000
	施設整備等支出計(5)	0	9,284,000	-9,284,000
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	-9,284,000	9,284,000
その他の活動による収支	収 入			
	0214 積立資産取崩収入	1,000	280,000	-279,000
	その他の活動による収入計(7)	1,000	280,000	-279,000
	支 出			
	0152 積立資産支出	414,000	414,000	0
	0160 拠点区分間繰入金支出	0	1,170,000	-1,170,000
	その他の活動支出計(8)	414,000	1,584,000	-1,170,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-413,000	-1,304,000	891,000
	予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-16,537,000	-9,895,000	-6,642,000
前期末支払資金残高(12)		25,279,206	35,174,206	-9,895,000
当期末支払資金残高(11)+(12)		8,742,206	25,279,206	-16,537,000

おおぶち そよ風こども園

1、園の運営

認定こども園開園5年目、教育・保育の中で子ども一人ひとりが安心・安全に過ごすことを職員が再確認し、子育て支援・保護者支援を継続的に行いながら、地域や専門機関との連携を図る。また、防災や安全管理に努めていく。

2、取り組み

- ◇子育て支援・保護者支援：保育参加、保護者面談の実施、保護者への発信、家庭教育学級の実施
- ◇教育・保育の質向上：園内研修の充実、リモート研修への参加、ITCの活用による業務削減
- ◇安心・安全な園の環境整備：防災、減災教育の振り返りと実施訓練、マニュアルの見直し
- ◇地域や教育機関との連携：地域懇談会、地域への発信、教育機関との交流、地域公開保育

3、年間活動計画

- ・全体的計画の中で、運動会、発表会、保育参加、保護者面談等時期や内容を検討し実施する。

4、火災・地震・消火訓練及び不審者対応訓練

- ・園児の安全確保と職員の危機管理の意識向上を図りながら、避難訓練は、月1回実施訓練する。
- ・不審者対応訓練は、年3回防犯教育と年3回実施訓練をする。

5、職員園務

- ・職員一人ひとりが職務に責任をもち、円滑な園運営が行えるようにする。
- ・職員間のコミュニケーションを頻繁に行い、共通理解を図っていく。

6、研修

- ・外部研修（オンライン研修）は、キャリアアップ別研修計画に添いながら、質の向上に努めていく。
- ・内部研修「みんながつながり、広がる教育・保育」を研修テーマとして、グループ討議や全体研修も含めて行う。

7、一時預かり事業

- ・地域の子育て支援事業の需要になるべく応じることができるよう職員体制を整えていく。

8、支援センター事業内容

- ・園が地域の拠点となって、子育てや家庭支援を行い利用者が気軽に立ち寄れる居心地の良い場所作りに努める。
- ・園と連携を図って地域子育て支援を行っていく。

おおぶち そよ風こども園拠点区分 資金収支当初予算書

令和 8年 4月 1日

(単位:円)

勘定科目		当初予算額	前年度予算額	増 減
事業活動による収支	収 入			
	0181 保育事業収入	126,312,000	123,925,000	2,387,000
	0200 受取利息配当金収入	30,000	30,000	0
	0201 その他の収入	1,450,000	1,450,000	0
	事業活動収入計(1)	127,792,000	125,405,000	2,387,000
	支 出			
	0129 人件費支出	91,006,000	88,705,000	2,301,000
	0130 事業費支出	14,582,000	13,393,000	1,189,000
	0131 事務費支出	26,773,000	26,666,000	107,000
	0138 その他の支出	1,305,000	1,300,000	5,000
	事業活動支出計(2)	133,666,000	130,064,000	3,602,000
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-5,874,000	-4,659,000	-1,215,000
施設整備等による収支	収 入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支 出			
	0144 固定資産取得支出	110,000	823,000	-713,000
	施設整備等支出計(5)	110,000	823,000	-713,000
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-110,000	-823,000	713,000
その他の活動による収支	収 入			
	0214 積立資産取崩収入	120,000	1,000	119,000
	その他の活動による収入計(7)	120,000	1,000	119,000
	支 出			
	0152 積立資産支出	304,000	304,000	0
	その他の活動支出計(8)	304,000	304,000	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-184,000	-303,000	119,000
予備費支出(10)		0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-6,168,000	-5,785,000	-383,000
前期末支払資金残高(12)		11,402,605	17,187,605	-5,785,000
当期末支払資金残高(11)+(12)		5,234,605	11,402,605	-6,168,000